



# 中国広州市と 友好都市協定締結



公式訪問団広州市訪問

11/14  
~11/17

11月15日(木)、中国広東省広州市で、同市との友好都市協定の調印式が行われました。この協定は、友好交流促進都市協定の締結から10年を迎え、より交流を深めるため締結するもので、協定書に調印した陳広州市長と小笠原市長は、固い握手を交わしました。調印式後には、経済交流会が開催され、広州市の観光関連部門職員をはじめ、旅行会社や航空会社の担当者が出席し、情報交換を行いました。11月16日(金)には、世界各国の都市が政策を競う『広州国際都市イノベーション大会』に出席したほか、市内視察や登別市主催の昼食会を通じて、広州市への理解を深めました。今回の訪問には、市や登別商工会議所、登別観光協会などから、11人が参加。通訳は自治体職員協力交流研修員として、登別市を訪れていた林善花さんが担当し、両市の友好の懸け橋となりました。



▲若山浄化センターを見学する参加者

## 知っているようで 知らないわがまち

平成24年度市民見学会

10月26日(金)、『平成24年度市民見学会』(市主催)が行われ、参加した市民12人が、若山浄化センター、し尿投入施設、地獄谷など市内5箇所を見学しました。若山浄化センターでは、微生物を利用して下水中の汚物を分離させる活性汚泥法を用いた施設などを職員の説明を受けながら見学。最終処分場では、普段は入ることができない焼却灰の埋め立て所を訪れ、参加者は足元に広がる焼却灰の感触を確かめながら「これを見たところを減らさなくちゃと思う」と環境保護への気持ちを新たにしていました。

10/26